

備前市事務事業評価表

事務事業名	老人福祉施設管理運営事業（備前）		コード	02-01-04-04
			担当課・係	福祉事務所 高齢者福祉係
			担当者	角南文子
			電話	64-1827
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目（基本施策）	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目（施策）	高齢者福祉		

事業について	
目的 （何のために）	施設を利用する高齢者により健康で社会参加をする場を提供することを目的とする。
対象 （誰・何を対象に）	福祉サービスを必要とするもの
内容	備前市養護老人ホーム「蕃山荘」、特別養護老人ホーム「大ヶ池荘」、備前市老人福祉センター、備前市福祉センター、備前市デイサービスセンター「蕃山荘」・「大ヶ池荘」の指定管理委託

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など（単位）	18年度 回数など（単位）	回数など（単位）
デイ利用率	88 %	81 %	
デイ利用人数	10,147 人	10,958 人	
養護入所者	50 人	50 人	
特養入所者	50 人	50 人	
老人福祉センター利用者	2,366 人	2,453 人	

事業費 （単位：千円）	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	9,453	国庫補助金等	0	直接事業費	6,839	国庫補助金等	0
	人件費	1,980	委託費負担	16	人件費	2,180	委託費負担	0
	合計	11,433	市債 一般財源等	11,417	合計	9,019	市債 一般財源等	9,019

必要人員	0.20 人	0.20 人	
結果指標	結果指標名	17年度	18年度
	結果指標量	88	81
	単位	%	%
	対前年比	-	92.05%
	活動にかかるコスト	396,000 円	109,000 円
	単位当たりコスト	39 円	9 円
結果指標	結果指標名	17年度	18年度
	結果指標量	10,147	10,958
	単位	人	人
	対前年比	-	107.99%
	活動にかかるコスト	396,000 円	109,000 円
	単位当たりコスト	39 円	9 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	定員に対してデイの利用者が増えるということは、デイの事業内容に満足している利用者が多いと判断できる。		
成果指標名	デイ利用率	式又は説明	デイ定員数/デイ利用者数
	17年度	18年度	
成果指標量	88	81	
対前年比	-	92.05%	0.00%
到達目標値	90	到達目標年度	19

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		（平成18年度事業）	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：備前市デイサービスセンター設置条例	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	地域福祉をリードする施設であり、今後も地域に根ざした施設サービスの提供を行う必要がある。高齢化の進展に伴い、利用者の増加が見込まれる。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	指定管理者制度を導入することで、施設のもつ能力を活用し、市と施設が協力して効率的な施設運営を行うことが必要となる。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	施設スタッフによる利用者に対するサービス意識の向上や施設サービス提供時間の延長など利用者のニーズを意識した利用者本意のサービス提供を行っていく。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 平成18年度から20年度までの3年間、指定管理者制度において施設管理を行っている。19年度も現状のまま継続して行う。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値 結果指標量 90 成果指標量 90	結果指標量 11,000	

総合評価	高齢化の進展に伴い、利用者の増加が見込まれるため、指定管理者制度において、施設のもつ能力を活用し利用者のニーズを意識した利用者本意のサービスを提供することで利用者の増大を図っていく。	評価区分 <A~E> C
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	定数に余裕のある日の利用促進	19年度	収益増